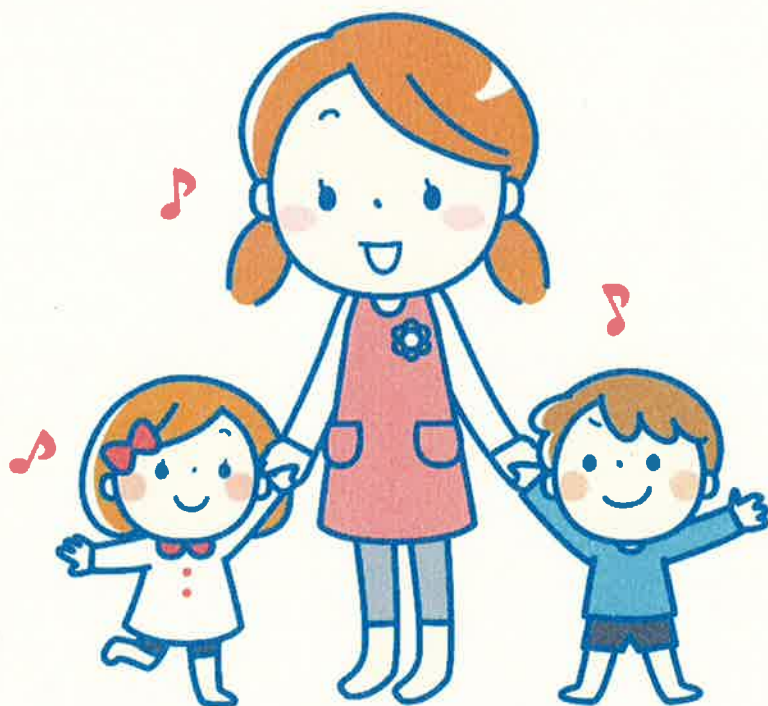


子どもの育ちをつなげる保育記録

～業務の効率化から保育の質の向上をめざす～ 2016



平成28年度
山梨県保育協議会
保育内容研究委員会

目次

1 新様式 記入例とポイント	1
2 保育要録 記入例	15



新様式 記入例 と ポイント



_____ 成長の記録

入所 平成 年 月 日

退所 平成 年 月 日

保育所名 _____

新様式の記入例及び、各保育所(園)で検討する際のポイントをまとめました。

○様式 A から C までは「児童票部分」で、項目削除や変更においては、関係法令をご確認頂く必要があります。また、関係法令等改正時には、随時見直しや検討が必要となります。

○様式 D と E、特記事項については、「個別の発達経過記録」として、3歳未満児は必須、3歳以上児は任意となります。項目や評価方法、様式自体はあくまでも「例」として提示していますが、記録の重複を避け記述部分の簡素化と、成長発達の把握を容易に出来るよう作成してあります。

尚、平成 28 年 12 月 21 日付 社会保障審議会児童部会保育専門委員会からの「保育所保育指針の改定に関する議論のとりまとめ」では、今回の改定において、教育内容の 5 領域の「ねらい及び内容」の構成について、各領域に「ねらい」「内容」「内容の取扱い」が記載され、「育みたい資質・能力についての三つの柱」や「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた幼児教育のあり方が示されています。

また、乳児保育については、「身近な人と気持ちが通じ合う」「身近なものに関わり感性が育つ」「健やかに伸び伸びと育つ」という視点から記載内容が整理・充実され、3歳未満児においては「健康、人間関係、環境、言葉、表現」の 5 領域に関する学びが大きく重なり合いながら、生活や遊びの中で育まれていくことを踏まえた内容となることから、指針改定後は各保育所(園)の保育課程の見直しに伴い、個別指導計画やチェックリストなどの内容を精査する必要があります。

身延 久遠 成長の記録

入所 平成 23 年 4 月 1 日

退所 平成 年 月 日

年度 項目	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
クラス	いちご組	すもも組	さくらんぼ組	もも組	かき組	ぶどう組
年間保育日数	日	日	日	日	日	日
出席日数	日	日	日	日	日	日
欠席日数	日	日	日	日	日	日
担当氏名	甘利 三郷	西沢 春恵	甲斐 双葉	山中 桂	北岳 原七郎	富士 急子

保育所(園)名 山梨フルーツ保育園

様式A

ふりがな	みのぶ くおん		男 ・ 女	ふりがな	みのぶ まんじゅう	
児童氏名	身延 久遠			保護者氏名	身延 萬重	
生年月日	平成 23 年 1 月 28 日生			自宅電話	0556-〇〇-〇〇〇〇	
現住所	南巨摩 市(郡) 身延 (町) 村		父 携帯電話	090-〇〇〇-〇〇〇〇		
	身延5丁目			母 携帯電話	080-〇〇〇-〇〇〇〇	
家族構成 (同居人も含む)	続柄	氏名	生年月日	勤務先/学校名		
	父	身延 萬重	S58・5・7	名称	(株)〇〇〇〇	
				住所	身延町〇-〇	
				電話	0556-〇〇-〇〇〇〇	
	母	身延 桜	S60・11・29	名称	スーパ 〇〇〇 ファミレス〇〇	
				住所	身延町〇-〇 身延町×-×	
				電話	0556-〇〇-〇〇〇〇 0556-〇〇-〇〇〇〇	
	姉	身延 柚子	H20・4・20	甲斐路小学校		
祖母	身延 湯葉	S27・6・5				
		・				
		・				
		・				
保護者以外の 緊急連絡先	下部 温子	関係 母方祖母	連絡先 祖母自宅	TEL 0556-〇〇-〇〇〇〇		
	富士 浅間	関係 父方叔父	連絡先 叔父携帯	TEL 090-〇〇〇-〇〇		
特記すべき 家庭の状況	例) ・〇年〇月 妹 誕生 ・〇年〇月 離婚調停中 〇年〇月 離婚 ・〇年〇月 転居 (〇〇市〇〇-〇) ・〇年〇月 母 転職(ファミレス〇〇)					
かかりつけの病 院(医師)名	小児科 〇〇小児科	電話番号	0556-〇〇-〇〇			
	その他 耳鼻科 〇〇医院	電話番号	0556-〇〇-〇〇			
アレルギー疾患	なし ・ <u>あり</u> 食べ物() ・ その他(花粉症)					
除去食の有無	<u>なし</u> ・ あり ()			常用する薬	<u>なし</u> あり ()	
加入医療保険 の名称	社保・国保など			記号番号		

訂正の仕方は、各保育所で検討して下さい。赤字にするなども自由です。

家庭環境の変更・・・住所変更や兄弟の誕生、離婚・再婚などを記載します。

小児科以外で、持病等でかかりつけとなっている病院があれば、記載して下さい。

- ◎ 「保護者が年度初めに記入し、年度途中で変更点があれば、その都度保育所が訂正する」「保護者に渡さずに保育所が管理し、親からの聞き取り等の報告で記入していく」など、各保育所でお決め下さい。また、更新についても、「年1枚ずつ更新する」「読み取りにくくなった毎に新しくする」など、各保育所の状況でお決め頂いて差し支えありません。
- ◎ 訂正の仕方、項目の設定は自由ですが、以下の項目は「児童票」として把握する情報ですので、ご注意ください。
 - ・氏名・住所等の基本情報
 - ・家族の連絡先
 - ・加入医療保険の名称
- ◎ 「アレルギー疾患」「除去食の有無」などは、最新の状況を反映するとともに、すぐに把握できるようにする必要があります。

様式A-2

予防接種			
定期接種		接種年月日	
Hibワクチン	第1期	1回目	: :
		2回目	: :
		3回目	: :
	第1期追加		: :
肺炎球菌	第1期	1回目	: :
		2回目	: :
		3回目	: :
	第1期追加		: :
DPT-IPV 四種混合ワクチン (ジフテリア・百日咳 破傷風・ポリオ)	第1期	1回目	: :
		2回目	: :
		3回目	: :
	第1期追加		: :
BCGワクチン		: :	
水痘		: :	
MR混合ワクチン (麻疹・風疹)	第1期	: :	
	第2期	: :	
B型肝炎	1回目	: :	
	2回目	: :	
	3回目	: :	
任意接種		接種年月日	
ロタウイルス ワクチン	1回目	: :	
	2回目	: :	
おたふくかぜ		: :	

健康診断受診状況		
	受診した場合○	指導があった場合
1ヵ月検診	○	
3・4ヵ月検診	○	特記事項参照
6・7ヵ月検診	○	
9・10ヵ月検診		
1歳児検診		
1歳6ヵ月検診		
2歳児検診		
3歳児検診		

※指導があった場合、詳細は特記事項 参照

平熱	
年度	℃
	℃
	℃
	℃
	℃
	℃
H 年度	℃
H 年度	℃

※健康状態が良好の時、時間を決め3日位検温した平均値

※健康面についての特記事項(アレルギー受診状況など)

- ・H25年 3月 花粉症診断
- ・熱性けいれんのため、37.5℃以上になったら連絡

予防接種法改正に伴い、項目を追加変更して下さい。

これはあくまで一例です。各保育所(園)で記入することを検討して下さい。

既往歴	麻疹	歳	百日咳	歳	突発性発疹	歳	ヶ月
	風疹	歳	心臓病	歳	熱性けいれん		1歳
	水痘	歳	腎臓病	歳	てんかん		3歳
	おたふく	歳	肺炎	歳	ヘルニア		歳
	喘息	歳	気管支炎	歳	運動障害		歳
	手術 ()	歳	その他()	歳			

- ◎ 「保護者が年度初めに記入し、年度途中で変更点があれば、その都度保育所が訂正する」「保護者に渡さずに保育所が管理し、親からの聞き取り等の報告で記入していく」など、各保育所でお決め下さい。また、更新についても、「年1枚ずつ更新する」「読み取りにくくなった毎に新しくする」など、各保育所の状況でお決め頂いて差し支えありません。
- ◎ 訂正の仕方、項目の設定は自由ですが、以下の項目は「児童票」として健康面で把握する必要がありますので、変更する場合は別シートに項目を入れるよう、ご注意ください。
 - ・ 既往歴 ・ 予防接種 接種状況 ・ 平熱 ・ 健康診断受診状況
- ◎ 「健康診断受診状況」「予防接種 接種状況」など特記することがない場合、「記入しない」「予防接種 様式A-2参照」など「特記事項」(旧記事欄)の記入事項を省くなど、各園でご検討下さい。

様式B 身体発育状況 三歳未満児

※入所時に記入

妊娠経過	順調 (不調) (切迫流産の恐れありで入院)	喫煙習慣	(あり) なし	飲酒習慣	(あり) なし
分娩経過	(正常) 帝王切開 吸引 仮死 その他()				
出生直後	(正常) その他()	出生体重	2600g	滞在周数	37週
血液型	型(Rh +A)				
発育	生歯 9 ヶ月	発語	1才 1ヶ月	始歩	11 ヶ月
体質	(かぜをひきやすい) 鼻水が出やすい 熱を出しやすい 咳が出やすい 気管支炎になりやすい 吐きやすい 自家中毒 扁桃腺が腫れやすい 中耳炎をおこしやすい 下痢しやすい 便秘 湿疹 じんましん 化膿しやすい 乾燥肌 鼻血が出やすい 脱臼しやすい(箇所) 骨折しやすい その他()				

入所までの生活(0,1歳児)		記入年月	平成 29 年 2月 (歳 9 ヶ月)	
授乳状況	・授乳状況	母乳 人工 (混合)	・冷凍母乳	希望する (しない)
	・哺乳間隔	(規則的) 不規則	・哺乳時間	15 分
	・哺乳瓶	変えたのは()ヶ月		
食事	・飲ませ方	(抱いて) 寝かせて 寝ながら自分で持つ		
	・ミルクの量	1回 200 cc 1日 4 回		
	・ミルクのメーカー	()	・ミルクの温度	(人肌) ぬるめ 熱め
離乳食状況	・乳首の大きさ	S (M) L クロスカット	・乳首の種類	()
	・離乳食開始	5 ヶ月	・離乳食完了	歳 ヶ月
	・現在の固さ	ドロドロ状 舌でつぶせる固さ (やわらかめ)	・ふつうのご飯の固さ	
牛乳	・味付け	大人と同じ (薄味) その他()		
	・ベビーフード	使用していない (使用している) (ひと月 (週) 日に 1 回程度)		
	・食具	(スプーン) (フォーク) (コップ) ストローマグ その他()		
排便	・食事時の姿勢	立ったまま 抱いて (椅子に座って) 畳や床に座って その他()		
	・食事の様子	大人が食べさせる (手づかみで食べる) スプーン等でこぼしながらも自分で食べる 手とスプーン両方で食べる		
	・食べ方の特徴	むせやすい 吐きやすい よく噛まない (口の中に溜める) その他()		
睡眠	・飲ませたこと	ない (ある) 歳 9 ヶ月頃)	・温度	そのまま (温める)
	・1日の回数	1 回	・1日の量	20 cc
	・排便	1 日に 2 回	・便の性状	固い やわらかい (ふつう)
遊び	・オムツ	布 紙オムツ (紙パンツ)	・メーカー	()
	・オムツかぶれ	(する) (しない)	・トイレトレーニング	始めている (いない)
	・寝る時の姿勢	(仰向け) うつ伏せ 横向き その他()	・眠り	浅い (ふつう) 深い
健康面	・寝つき	(よい) わるい()	・寝起き	(よい) わるい()
	・寝る時の状態	指しゃぶり タオルなど愛着物を持つ おしゃぶりを使う 哺乳瓶を使う 子守唄を歌う 添い寝 おんぶ 抱っこ 泣きながら (とんとん背中を叩く) その他()		
	・人見知り	しない (少しする) する 以前した 時期 (歳 ヶ月頃から 歳 9 ヶ月頃まで)		
これまで主として育てた人		(母) 父 (祖母) 祖父 その他()		
※健康面で心がけていること				

様式B 3歳未満児、3歳以上児 どちらも入所時のみに、保護者が記入する様式です。
 入所時に該当する年齢のものをお使いください。
 尚、項目の設定は自由です。保育所で把握したい項目を設定して下さい。

様式B 身体発育状況 三歳以上児

※入所時に記入

妊娠経過	<input checked="" type="radio"/> 順調 <input type="radio"/> 不調()	喫煙習慣	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	飲酒習慣	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし
分娩経過	正常 <input checked="" type="radio"/> 帝王切開 <input type="radio"/> 吸引 <input type="radio"/> 仮死 <input type="radio"/> その他()				
出生直後	<input checked="" type="radio"/> 正常 <input type="radio"/> その他()	出生体重	2600g	滞在周数	37週
血液型	型(Rh)				
発育	生歯 7 ヶ月	発語	12 ヶ月	始歩	13 ヶ月
体質	かぜをひきやすい 鼻水が出やすい <input checked="" type="radio"/> 熱を出しやすい 咳が出やすい 気管支炎になりやすい 吐きやすい 自家中毒 扁桃腺が腫れやすい 中耳炎をおこしやすい 下痢しやすい 便秘 湿疹 じんましん 化膿しやすい 乾燥肌 鼻血が出やすい 脱臼しやすい(箇所) 骨折しやすい その他()				

入所までの生活(2歳児以上)

記入年月

29 年 2 月 (2 歳 3 ヶ月)

食 事	・制限のある食べ物	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> ある()	・食事時間	<input checked="" type="radio"/> 決まっている <input type="radio"/> 決まっていない	・所要時間	分くらい
	・食具	スプーン フォーク <input checked="" type="radio"/> 箸	・食事の様子	大人が食べさせる 手づかみで食べる <input checked="" type="radio"/> 座って食べられる <input type="radio"/> 遊びながら食べる	・好き嫌い	ない <input checked="" type="radio"/> ある(生野菜)
排 泄	・排便	1日に 1 回 後始末(できる <input checked="" type="radio"/> できない)	・失敗すること	ない <input checked="" type="radio"/> ある	()	
	・排尿	1日に 6 回 後始末(できる <input checked="" type="radio"/> できない)	・失敗すること	ない <input checked="" type="radio"/> ある	(遊んでいる時)	
睡 眠	・便の性状	固い やわらかい <input checked="" type="radio"/> ぶつ	・排泄の自立	<input checked="" type="radio"/> 未 <input type="radio"/> した(歳 ヶ月)	()	
	・オムツまたは紙パンツ	使う <input checked="" type="radio"/> 使わない	・トイレトレーニング	<input checked="" type="radio"/> 始めている <input type="radio"/> いない	()	
着 脱	・昼寝	<input checked="" type="radio"/> する <input type="radio"/> しない	・眠り	浅い <input checked="" type="radio"/> 深い	()	
	・寝つき	<input checked="" type="radio"/> よい <input type="radio"/> わるい()	・寝起き	よい <input checked="" type="radio"/> わるい	(9時頃 起床)	
遊 び	・寝る時の状態	<input checked="" type="radio"/> 添い寝 <input type="radio"/> ひとり寝	・寝る時の癖	(指吸い)	()	
	・ズボン上げる	<input checked="" type="radio"/> できる <input type="radio"/> できない	・ズボンを下げる	<input checked="" type="radio"/> できる <input type="radio"/> できない	()	
癖	・前ボタンをかける	できる <input checked="" type="radio"/> できない	・前ボタンをはずす	できる <input checked="" type="radio"/> できない	()	
	・靴を脱ぐ	<input checked="" type="radio"/> できる <input type="radio"/> できない	・靴を履く	できる <input checked="" type="radio"/> できない	()	
意 思 の 伝 達	・一人で遊ぶことが多い	<input checked="" type="radio"/> 親と一緒に他児と遊ぶ	・一人で他児と遊ぶ	()		
	・好きな遊び	(外遊び)	()			
性 格	喃語 指さし 単語 二語文 <input checked="" type="radio"/> 会話 <input type="radio"/> 発語なし 大人の言うことが理解 <input checked="" type="radio"/> できる <input type="radio"/> できない					
	気になること (時々どもることがある)					
こ れ ま で 主 と し て 育 て た 人	<input checked="" type="radio"/> 人見知り <input type="radio"/> 内気 <input type="radio"/> 引っ込み思案 <input type="radio"/> 落ち着かない <input type="radio"/> 乱暴 <input type="radio"/> わがまま <input type="radio"/> かんしゃくを起こす					
	攻撃性がある (噛む たたく つねる 押す) その他()					
気になること ()						
これまで主として育てた人 <input checked="" type="radio"/> 母 <input type="radio"/> 父 <input type="radio"/> 祖母 <input type="radio"/> 祖父 <input type="radio"/> その他()						
※健康面で心がけていること 外から帰宅したら、うがい・手洗いをする						

様式B 3歳未満児、3歳以上児 どちらも入所時のみに、保護者が記入する様式です。
 入所時に該当する年齢のものをお使いください。
 尚、項目の設定は自由です。保育所で把握したい項目を設定して下さい。

様式C 三歳未満児 健康診断

健康診断						
年度	28 年度		年度		年度	
項目/日時	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・
身長						
体重						
発育状態						
栄養状態	肥 普 や	肥 普 や	肥 普 や	肥 普 や	肥 普 や	肥 普 や
脊柱・胸郭						
心疾患						
四肢の異常						
眼疾患						
耳鼻咽喉頭疾患						
皮膚疾患						
その他の疾病 および異常						
項目/日時	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・
歯	生歯数					
	う 歯 数	処置				
		未処置				
	その他歯疾病					
項目/日時	・ ・					
検尿						
事後措置	家庭連絡済 特記 <input checked="" type="radio"/> 有 ・無	特記 有 無	特記 有 無	特記 有 無	特記 有 無	特記 有 無
備考	○月○日欠席 ○月○日受診					

・嘱託医に健診の項目を伝え、項目に沿って検診していただく

・(-)の場合は異常なし(+の場合は異常あり)
・家庭連絡、治療の後 (-) になった日を事後処置欄に記入する。

・健康診断を受けたら、疾病の予防処置「受診の指示」「検査・予防接種等の指示」について家庭に知らせ、事後措置欄の「家庭連絡済」に○をつける。
・特記事項に詳細を記録する場合は有、ない場合は無に○をつける。

・欠席した園児は各家庭にて嘱託医に受診し、結果を保育園に知らせてもらう。
・受診日は事後措置欄に日付を記入する。

保育所の行う健康診断の項目は、「学校安全保健法施行規則」にて定められています。
法改正により、項目の変更が必要となります。
例) 平成28年の改正で、「寄生虫検査」が必要なくなった。➡ 項目削除

様式C 三歳以上児 健康診断

健康診断						
年度	年度		年度		年度	
項目/日時	前期	後期	前期	後期	前期	後期
身長	・嘱託医に健診の項目を伝え、項目に沿って検診していただく			
体重						
発育状態						
栄養状態	肥 普 や	肥 普 や	肥 普 や	肥 普 や	肥 普 や	肥 普 や
脊柱・胸郭						
心疾患						
四肢の異常						
眼疾患						
耳鼻咽喉頭疾患						
皮膚疾患						
その他の疾病および異常						
項目/日時	..					
歯	生歯数					
	う歯数	処置				
		未処置				
	その他歯疾病					
項目/日時	..					
聴力	右					
	左					
項目/日時	..					
視力	右					
	左					
項目/日時	..					
検尿						
事後措置	家庭連絡済 特記有 無 特					
備考	○月○日欠席 ○月○日受診					

・視力・聴力については、「学校保健安全法施行規則」に項目があります。検査の方法や対象年齢は各園でご検討下さい。

・日々に保育の中で、異常がなければ「異常なし」。

・明らかに見えづらい、聞き取りづらい様子であれば保護者に受診を勧める。

・2回目の健康診断の欄に日付を記入

・就学時健診にて異常があった場合は記事に記入する。4歳以下は空欄

・(-)の場合は異常なし(+の場合は異常あり

・家庭連絡、治療の後(-)になった日を事後措置欄に記入する。

・健康診断を受けたら、疾病の予防処置「受診の指示」「検査・予防接種等の指示」について家庭に知らせ、事後措置欄の「家庭連絡済」に○をつける。

・特記事項に詳細を記録する場合は有、ない場合は無に○をつける。

・欠席した園児は各家庭にて嘱託医に受診し、結果を保育園に知らせてもらう。

・受診日は事後措置欄に日付を記入する。

保育所で行う健康診断の項目は、「学校保健安全法施行規則」にて定められています。法改正により、項目の設定が必要となります。

例) 平成28年の改正で、「寄生虫検査」が必要なくなった。⇒ 項目削除

様式C-2 身体測定の記事録

月/項目	年度		年度		年度	
	身長(cm)	体重 (kg)	身長(cm)	体重 (kg)	身長(cm)	体重 (kg)
4月	101.5	16				
5月	101.8	16.5				
6月	102.6	17				
7月	102.6	17				
8月						
9月	104.6	17				
10月	105.3	17.5				
11月	105.9	17.5				
12月	106.5	17.6				
1月	106.6	17.3				
2月	107.2	16.2				
3月	107.8	17.5				
備考	8月10日～30日まで家族旅行にて、長期欠席のため測定はしなかった。		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> ・予定した測定が行えなかった月の理由等を記入する。 </div>			
健康上の記録	2月5日～10日胃腸炎、 2月15日～26日インフルエンザにて欠席。 病気の発症により、食欲が落ちたことに伴い体重も減少したと思われる。 3月は、食欲も戻り体重も増加したと思われる。		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> ・健康面で変化があった月や体重が減少、もしくは増加した理由等を記入する。 </div>			

身体測定は、法的には毎月実施することは規定されていません。
 学校安全保健法では、年2回の健康診断の項目にありますので、最低でも2回の測定は必要です。

成長発達の姿		生後 0～2ヶ月	3～5ヶ月	6～8ヶ月	9～11ヶ月	12～15ヶ月	16ヶ月以上
食	哺乳ビンに慣れる。			できる	できる	できる	できる
	哺乳ビンをおさえて一人で飲む。			できる	できる	できる	できる
	ミルク以外の味やスプーンから飲むことに慣れる。			できる	できる	できる	できる
	離乳食初期（唇を閉じて飲み込むことができる）			要援助	できる	できる	できる
	離乳食中期（舌が上下に動き、上あごでつぶすことができる）			/	要援助	できる	できる
	離乳食後期（舌が上下左右に動き、歯ぐきでつぶして食べる）			/	出来ない	要援助	できる
	離乳食が完了する。			/	/	/	できる
事	自分で食べようとする。			要援助	できる	できる	できる
	コップを両手で持って飲む。			/	/	要援助	できる
排 泄	おむつが汚れると表情や動作で知らせることもある。			できる	できる	できる	できる
	便器（おまる）になれる。			出来ない	出来ない	要援助	要援助
睡 眠	自然の要求で眠る。			○	○	○	○
	日中の睡眠が午後一回になる。			×	×	△	△
	寝つきが良い。			×	×	△	△
	目覚めが良い。			○	△	△	△
着 脱	衣服の不快感を泣いて知らせる。			○	○	○	○
	着脱に応じようとして手足を動かす。			×	△	○	○
身 体 発 達 と 運 動	首がすわる。			○			
	寝返りをする。			○			
	保育士の膝の上に立たせると脚をつっぱる。			○			
	うつ伏せで腹を軸に方向転換したり、後ずさりしたりする。			○	/	/	/
	支えなしで座れる。			○	/	/	/
	歯が生えはじめる。			7ヶ月	/	/	/
	這い這いする。			7ヶ月			
	つかまって立ってられる。			要援助	9ヶ月		
	つたい歩きをする。			要援助	10ヶ月		
	一人で立ってられる。			要援助	11ヶ月		
歩 き	歩きはじめる。			出来ない	要援助	1才1ヶ月	
	一人歩きをする。			出来ない	出来ない	要援助	1才4ヶ月

8月14日生まれのお子さんが、4月に入所した場合。

発達に達していない項目は、斜線をひく、または非該当を選択する方法

記述式記入例
パソコンによるプルダウンリストでの入力で業務効率化を図ることが可能

入所前の欄は斜線をひいておくが良い。

○×方式記入例
手書きの場合の業務効率化を図ることが可能

1度で完了した項目は、その後は斜線をひく、または非該当を選択する方法

完全にできるようになった時に年齢・月齢を入れ、以後は空白とする方法

評価項目の設定は各園の保育理念や新指針の改定に応じて変更する必要があります。また、項目の増減も制限はありません。評価の仕方、各園で設定して構いません。ここでは、いくつかの方法を提示してあります。

しかし、「チェックリスト」は、発達の過程を一目で把握できる、且つ客観的な評価をすることが目的であり、園で評価方法を検討する際はその点を踏まえて検討して下さい。

「保育現場との連携による子どもの発達を的確に捉える発達記録システムの開発」より

ウイゴツキーの発達の最近接領域理論による0才児の評価方法		評価表示例	
例	できる	できる	○
	保育者の援助によりする、またはしようとする	要援助	△
	全くできない	出来ない	×
	非該当	/	/

D-5 5才児チェックリスト

成長発達の姿		I 期 (5歳2ヶ月)	II 期 (5歳6ヶ月)	III 期 (5歳10ヶ月)	IV 期 (6歳1ヶ月)
食	箸が正しく使える。	C	C	A	A
	食後に進んで歯を磨く。	A	C	B	A
	体と食物の関係について関心を持つ。	C	A	A	A
排	排泄後の始末を上手にする。	C	A	A	A
	排便が習慣づく。	A	A	A	A
	※人に迷惑をかけないように便所の使い方が上手になる。				A
睡眠・休息	午睡や休息を自分から進んでする。	D	C	D	C
	※休息するわけが分かり、運動や食事の後は静かに休む。				C
着脱	自分で衣服を着脱し、必要に応じて衣服を調節する。	C	B	5才11ヶ月	
	衣服の乱れを自分で直す。	5才2ヶ月		C	6才1ヶ月
清潔	うがい、手洗いの意味が分かり、体や身の回りを清潔にする。	C	B	B	A
	進んで掃除や片付けをする。	C	B	B	A
	※清潔にしておくことが、病気の予防と関係があることが分かり、身の回り等を清潔にする。				A
安全	避難訓練の意味がわかり、指示にしたがって確実に行動できる。	友達と一緒に	自分でする	自分でする	自分でする
	危険なものや場所がわかり、安全に気をつけて遊ぶ。	要呼びかけ	友達と一緒に	自分でする	自分でする
	※生活の中で、危険を招く事態がわかり、気をつけて行動する。				自分でする
	交通の規則がわかり守ることができる。	要呼びかけ	要呼びかけ	友達と一緒に	自分でする
保健運動	体の異常について、自分から保育士に訴える。	要呼びかけ	自分でする	/	/
	※自分や友達体の異常について、保育士に知らせる。				自分でする
	積極的に外で遊ぶ。	自分でする	自分でする	自分でする	自分でする
	様々な遊具や用具を使い、(※友達と一緒に)工夫して遊ぶ。	友達と一緒に	自分でする	自分でする	※自分でする
	友達と一緒に様々な運動や遊びをする。	自分でする	自分でする	自分でする	自分でする
	※自分の目標に向かって努力し、積極的に様々な運動をする。				自分でする

※印は、6歳児の発達の姿。

期間の設定は園で決めて下さい
例 I 期(4、5月)
II 期(6~8月)など

ABC式 記入例

6歳に満たない場合、斜線を引く方法

体力が付いたためか、休息を取りたがらなくなった事が理由となり後退する評価となる。

完全にできるようになった時に年齢・月齢を入れ、以後は空白とする方法

できるようになったものの、後退した時は再評価する方法

記述式 記入例
パソコンによるブルダウ
ンリストでの入力で業務
効率化を図ることが可能

1度で達成を完了した項目は、その後は斜線をひく、または非該当を選択する方法

※6歳の記入方法の例

「保育現場との連携による子どもの発達を的確に捉える発達記録システムの開発」より

ウィゴツキーの発達の最近接領域理論による評価

例	評価表示例	
	評価	表示
自分で進んでする	自分でする	A
友達と一緒にする	友達と一緒に	B
保育者の呼びかけでする	要呼びかけ	C
保育者の援助により、する	要援助	D
全く出来ない	出来ない	E
非該当	/	/

評価項目の設定は各園の保育理念や新指針の改定に応じて変更する必要があります。また、項目の増減も制限はありません。評価の仕方も、各園で設定して構いません。ここでは、いくつかの方法を提示してあります。

しかし、「チェックリスト」は、発達の過程を一目で把握できる、且つ客観的な評価をすることが目的であり、園で変更する際はその点を踏まえて検討して下さい。

28 年度 以上児個別指導計画・評価反省			園児名 身延 久遠		
	子どもの姿	保育士の援助	評価反省と課題		
I 期 4・5月	<p>基本的な生活習慣は、友達の様子を見たり保育士の声かけで進んで行く。 外遊びなど約束を忘れて行動することがあり、危険な行動も見られる。 考えたことや経験したことについて保育士や友達と会話を楽しむが、保育士の話を集中して聞くことが苦手である。</p>	<p>生活の流れや安全など活動の目的や意味を理解し、自分で考えて行動していけるような言葉かけをしていく。 友達や保育士との会話を楽しむ中で共感する喜びを味わい、相手の話を聞くことの大切さに気付くよう関わっていく。</p>	<p>約束を意識した言動が徐々に見られるようになってきている。 友達の意見を受け入れながら遊びを発展させる様子も見られ、聞くことの大切さに気付くようになった。 玩具やクレヨンなどの用具を乱雑に扱ったり片付けないことがある。身近な物を大切に扱い、きちんと整頓していくよう働きかけていく。</p>		
II 期 6～8月	<p>3歳以上児の「個別指導計画・評価」の作成に法的根拠はありませんが、月案や、週、日案を想定した「保育所保育指針 第4章 保育の計画及び評価」において、『3歳以上児については、個の成長と、子ども相互の関係や協同的な活動が促されるよう配慮すること』、『3歳以上児の指導計画においては、一人一人の子どもの主体性が重視されてこそ集団の育ちがあるという点を十分に認識した上で作成することが重要（「保育所保育指針解説書」）』と示されていることから、これらを踏まえ「児童票（成長の記録）」に添付すべき「本様式E 以上児個別指導計画・評価反省（※保育経過記録）」を作成しました。</p> <p>「子どもの姿」において、基本的な生活習慣や人との関係、遊びへの取り組み、興味・関心を持っていることや得意なこと、何にたずまわっているか等を明確にすることで「保育士の援助」はより明確になります。また、「評価反省と課題」が保育実践を省察、評価、改善し、次の指導計画に生かすP D C Aサイクルとして保育の質の向上につなげます。</p> <p>なお、本様式Eにより、従来「記事欄」で記載してきた保育経過記録を省き、保護者要望や事故けがなどの詳細などの項目を「特記事項」に絞って記載することで、記載事項が把握しやすくなり、且つ記録作業における業務効率化を図ることが可能となります。</p> <p>また、「3歳以上児の個別計画・評価」を記載することで、「成長の記録」に必要な保育実践上の記録である「保育経過記録」として、指導監査にも対応することができると考えます。</p> <p>※保育経過記録</p> <p>保育理念に基づく保育計画があり、実践過程で子ども達がどのように発達を遂げているのかを観察し、記録することにより、個人のプロフィールを明らかに示すもの。</p>				
III 期 9～12月					
IV 期 1～3月					
	<p>期間の設定は、各保育所で決めて下さい。</p>		<p>年度末に記入します。「要録」への転用も可能となるよう、項目を設定しました。</p>		
	養 護	子どもの健康状態など	所(園)長印	主任印	担任印
要録	<p>自己主張が強く自分の存在を会話や身ぶりでアピールすることがあり、常に注目されることで満足する。 語彙が豊富で色々な物の名前を知っており、友達としたりや言葉探しを楽しむ。</p>	<p>熱性けいれん対策としての坐薬使用は一度もなかった。 乳製品については引き続き配慮が必要。</p>			

様式 E 未満児個別指導計画・評価反省

28 年度 未満児個別指導計画・評価反省				園児名	身延 久遠	
月	6月 (0歳 4ヶ月)			月 (歳 ヶ月)		
項目	ねらい	保育士の援助	評価・反省	ねらい	保育士の援助	評価・反省
生活	食 事	母乳で育ったため、哺乳瓶を嫌がってまとめて飲めないの で、哺乳瓶に慣れながら、安 心して一定量しっかり飲める ようにする	子どもの生活リズムを把握し整えな がら、抱いて微笑かけたり、優しく言 葉かけを行いながら哺乳瓶やミル クの味に慣れていけるよう関わる。ま た、家庭と連絡をとり、健康状 態に注意しながら無理なく進めてい くようにする。	少しずつ哺乳瓶にも慣れ、生活リ ズムが整うに従い、一度に飲む量 も増えてきている。引き続き、安 心出来る関わりを行いながら無 理なく慣れていけるように進めてい く。	<div style="border: 2px solid black; padding: 10px;"> <p>一人ひとりの子どもの実態を把握し、理解するた め、「ねらい」では基本的な生活習慣や人との関 係、遊びへの取り組みについて、「興味・関心 を持っていることや得意なこと」や「何につまずいてい るかを明確にすること」で、保育士の援助がより明 確になります。</p> <p>また、「評価・反省」を取り入れることで、保育実 践を省察、評価、見直し、改善していき、次の指 導計画に生かしていく P D C A サイクルとして、 保育の質の向上につなげるとともに、「特記事項 (旧記事欄)」への保育経過記録の記載を省略 することができます。</p> </div>	
	排 泄	濡れたオムツを細めに替えて もらい、気持ち良い感覚を味 わう	優しく言葉かけながら細めにオム ツ交換を行い、さっさと心地良さ を感じていけるようにする。また皮 膚の状態を確認しつつ清潔に努 めていくようにする。	おむつが濡れると不快感を感じて 泣くようになってきている。皮膚が 弱く湿疹が出やすいので、細めに 交換するとともに、皮膚疾患のケ アも行い清潔に努めていきたい。		
	睡 眠	眠りが浅く、すぐに目覚めては 不機嫌になりやすい。生活リ ズムを整えながら安心して一 定時間眠れるようにする	家庭とも連絡をとりあい、配慮し ながら生活リズムを整えていくよ うにする。落ち着いて眠れる環境を 整え、安心して入眠できる関わり も行っていく	慣れるに従い、一定の時間眠る よう生活リズムが整ってきている。 今後も安心して眠られるよう環境 作りや関わりを行っていく。		
	言 葉	保育士の優しい語りかけに、 喃語や泣くなど、音声や表情 動作により欲求要求を安心し て表していく	欲求や要求、感情のサインを見逃 さず優しく受け止めていき、スキ ンシップなど愛情豊かに関わり、また、 欲求が満たされる事で子どもが安心 感を抱き、保育士との信頼関係を 抱いていけるよう関わっていく。	保育士の言葉かけに笑顔を見せ たり、オムツ交換や着替えの際、 泣いて嫌がるなど、要求や感情を 安心して表してきている。今後 は、喃語など促す言葉かけも行っ ていきたい。		
	健 康	肌が弱く、あせもが出やすい。 細やかな着替えなど身体を清 潔に保ってもらう快適に過ご していく。	室温や湿度を調節するなど環境を 整えていく。汗をかいた時は、体を拭 いたり着替えも細まめに行い、清潔 に過ごせるようにする。また、家庭と も連絡を取り合い、軟膏など必要に 応じて塗布し、ケアに努めていく。	園では清潔に努めているが、休み 明けなどオムツがぶれが見られる。 家庭にも皮膚疾患のケアや清潔 に努めるよう伝えていく。		
体の発達・ 遊び	縦抱きや横抱き、仰向けや 腹這いなど、好きな姿勢で保 育士と関わり合う中で、自主 的な動きをしようという気持ち を高めていく。	様々な姿勢で自由に手足を動かす ことを楽しめるよう、発達をたらし く言葉かけながら関わっていく。また、 玩具等清潔に使用できるように配慮 しながら色々な変化のある様子 を知らせたり、感触を楽しんでいける よう働きかけていく。	興味を示し手を伸ばしたり、音の する方に顔を向けるなど、手足を 動かして自主的な動きを楽しんで いる。今後は、物を見る・握る・ しゃぶる・つかもうと手を伸ばす 等、自発的な活動を楽しむ中で 感覚的発達を促していくよう働き かけていく。			
情緒面	はじめての園生活で、新しい 環境や保育士に慣れ、落ち 着いた雰囲気の中で抱かれ たり、微笑みかけられたり、語 りかけられたりと、保育士の受 容的な関わりにより、安心して 気持ちを抱いていく。	ゆったりと落ち着いた雰囲気作り を行い、衛生的で快適な環境の下で 園々の子供の欲求をたらえ受け止 めたり、一対一でのスキンシップを 図り、保育士との間に信頼関係を感じ ながら、安心して過ごして行けるよ う関わる	保育士や園の環境にも慣れてき て、安心して過ごしている。生理 的欲求を満たし、保育士との関 わり合いの中で愛着を深めて意 欲的に楽しめるよう関わっていく。	<div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>年度末に記入します。「要録」への 転用も可能となるよう、項目を設定 しました。</p> <p>新様式データには、要録欄がない 様式 E もあります。</p> </div>		
要録 (年度末)	養 護					子どもの健康状態等
	環境に慣れず睡眠時間が安定しないので、時間をかけて生活リズムを 整えていくことにより、だんだんと長く眠れるようになってきた。			乳製品・卵アレルギー (8ヶ月) 熱性けいれん (37.5℃)以上の発熱の時には保護者に連絡後坐薬を 投与する。		
印	所(園)長	主任	担任	所(園)長	主任	担任

平成 28 年度		
月 日	項 目	特 記 事 項
5 8	ケガ	廊下を走り、他児にぶつかり転倒し、頭を打つ。右側頭部に腫れがみられ、少量の嘔吐があり、救急に連絡。 意識ははっきりしていて、保育士とのやりとりも正常である。その後、救急車到着まで嘔吐はない。 〇〇病院にて診断を受け、CT検査の結果異常なし、その後帰宅し、特に異常はないとのこと。
10	ケガ	朝、病院受診後、登園。主治医より、日常生活に支障なしとのこと。 頭部のたんこぶも引き、元気に一日過ごした (詳細は、事故処理簿参照)
9 20	要望	母より左利きを直したいので、園でもクレヨン、はし等を右手で持たせてほしいと話がある。 普段の様子を話し、承知したうえで、まれにチックなどの症状が出る子もいることを伝えた。園でも様子を 見るが、家庭でも見てもらうようお願いした。
30	要望	9月20日の要望について 家庭での様子を聞き、園でも拒否反応を示すことなく進んでいることを伝えた。
1 29	支援	〇〇病院への定期リハに行き、母より様子を伝えてもらう。
	連携	(例： 関係機関からの連絡を記入) 保育園でも対応していく。(具体的な対応策を記入) 次回受診〇 月 〇 日 ()

○特記すべき事項のある場合のみ記入 ※記入する項目については、各園で検討して下さい。

アンケート結果から、「記事欄が成長の記録の中で他の記録と重複することが多い」との声が多く寄せられました。「記事欄」のあり方を検討する中で、他の書類と重複する「記事欄」の記載事項を省略することが最も業務効率化につながると考えられます。

改定保育所保育指針 Q & A 50 「Q45 保育士の業務量が増えることが考えられ、職員の負担感が増すのではないか。」「Q25 記録や評価など保育士の負担感への対応や、効果的な記録の様式、ポイントなどについて知りたい。」との質問についての回答には、『保育所における保育課程の編成、指導計画の作成、保育の記録、自己評価、児童票の記載、保育要録の作成などはすべて一貫性をもって一連の流れの中に位置づけられます。それぞれの書類作成を一から別々に行うのではなく、それぞれを関連付けて、保育の着眼点や保育を捉える視点を明らかにしながら簡潔に記すことが大切です。』「一つの記録が他の書類にも生かされ活用されるようポイントを押さえて的確に記すことが必要です。」と記載されています。

しかし、保育所として記録を残さなければならない事項もあり、当研究委員会では、各種法令を調べ、指導監査でも必要とされるものを中心に、他書類との重複項目を除きながら、「特記事項」の項目の例を挙げてみました。

- ・健康診断等受診時に指導があった場合の詳細
- ・子どもの成長発達で、特に必要と思われる項目の詳細
- ・園や家庭で起きたケガや病気(入院など)詳細な状況、園の対応、経過 → 病気・事故処理簿との関連性
- ・家庭の子育て支援 (家庭とのやりとりを経過を追って記入)
- ・保護者からの要望・要求と園での対応・経過 → 苦情処理簿との関連性
- ・関係機関との連携

「子どもの成長発達の保育経過の記録」については、「チェックリスト」にて成長発達の客観的見極めを行い、「個別計画・評価」にて、個々の特性や保育士の関わりなどを記録しています。依って二つの書類の項目にあることは、特別に記録を要する事以外は記入しなくてもよいと思われます。

何を「特記事項」に記載するかは、重複する他書類との関連性をふまえ、業務の簡素化を念頭に各保育所で話し合い、例えば重複する書類があるときは「書類名 参照」とするなど決めていく必要があります。

* 枠の大小は問わない。

児童保育・教育要録

記入例

記載：平成 年 月 日

ふりがな 氏名		性別 男・女	就学先 (転園先)			
生年月日 平成 年 月 日生		保育期間 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日(年 月)				
	0歳児(ヵ月)	1歳児	2歳児(満3歳児)	3歳児	4歳児	5歳児
養 護	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)	(カ)
	【養護(生命の保持および情緒の安定)に関わる事項】 快適な生活を送ることができているか、健康で安全に過ごすことができているか、健康でいることに対して積極的に取り組んでいるか、などの生活習慣について記入します。また、保護者や友達との関わりや情緒面での成長なども記入します。					
(子どもの健康状態等)	(キ)					
【子どもの健康状態】 これまでの子どもの病気や怪我の状態、体質など、健康上で特に留意してきたことを具体的に記します。						
担当 氏名						
【子どもの育ちに関わる事項】 (ク) 【子どもの育ちに関わる事項】 家族構成をはじめとする子どもの生活環境や、入園してから卒園するまでの園生活など、育ちの過程をさまざまな角度から分析し、子どもの長所、得意なこと、問題行動や気になる面、保育士の援助や配慮などを総合的に記入します。						
項目	教育(発達援助)に関わる事項(ほぼ達成できたとところに○印を付ける)					
健康 状態	・明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう	○	言 葉	・自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう	○	
	・自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする	○		・人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう	○	
	・健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける	○		・日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ保育士や友達と心を通わせる	○	
人間 関係	・生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう	○	表 現	・いろいろなもの美しさなどに対する豊かな表現を持つ	○	
	・身近な人と親しみ、関わりを深め愛情や信頼感を持つ	○		・感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ	○	
	・社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける	○		・生活の中でイメージを豊かにし、さまざまな表現を楽しむ	○	
環 境	・身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持つ	○	【指導上参考となる事項】 (ケ) 【教育(発達援助)に関わる事項】 最終年度(5~6歳児)を中心に、保育者の発達援助の視点を踏まえながら、子どもの心情、意欲、態度などについて記入します。用紙には、5領域を基本に、各領域で心情、意欲、態度の内容も示されているので、これらの視点から、子どもの発達を振り返り、特に成長したことや特徴的なことを記入しましょう。引き続き課題となっている事項についても、否定的な表現にならないように留意しながら記入します。			
	・身近な環境に自分から関わり発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする	○				
	・身近な事物を見たり、考えたり、扱ったりする中で物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする	○				
施設名 及び 住所	(保育所又は認定こども園名)		(住所)	〒 ー ー		
施設長氏名	印		年長担任氏名	印		
			添付書類 (有・無)			

* 教育に関わる事項、指導上参考となる事項欄については、満3歳以上の園児について記入すること

* 情報公開になる文章です。

* 子どもの最善の利益を踏まえ、個人情報保護に留意し、適切に取り扱しましょう。

平成 年度作成

注意事項:①年長担任が複数の場合、2名の氏名を記載する。②転入園の場合、送付を受けた用紙に連続して記入してはならない。園長は新たに当該幼児の指導要録を作成する。

* 枠の大小は問わない。

児童保育・教育要録

記載：平成 28年 3月 1日

ふりがな 氏名	やまなし 山梨	たもつ 保	性別 (男)・女	就学先 (転園先)	甲府市立信玄小学校	
生年月日	平成 21年 12月 12日生			保育期間	平成 22年 4月 1日 ~ 平成 28年 3月 31日(6年 0か月)	
	0歳児(3か月)	1歳児	2歳児(満3歳児)	3歳児	4歳児	5歳児
養護	環境に慣れず睡眠時間が安定しないので、時間をかけて生活リズムを整えていくことにより、だんだんと長く眠れるようになってきた。	嘔みつきがある度に注意をしたり、保育者の配慮により言語発達を促したりする中で、遊びに集中出来るようになり、嘔みつきが減り遊びへと移行した。	言葉で表現するのに時間がかかるため、友達や保育者とのコミュニケーションがとれないので、ゆっくり目を見て伝えたり、実物を見せながら言葉を習得出来るように関わっていった。	自分の思いが通らないと強い口調で相手を泣かせてしまうこともあるが、すぐに反省して相手を受け入れられる。気の合う仲間同士と一緒に遊ぶ姿も見られるようになった。	異年齢の子どもたちに優しく関わっている。意に添わないことには泣いて訴えてくるが、話しをすることで立ち直りも早く気持ちの切り替えができて精神的にも安心して居る。	自己主張が強く、自分の存在を会話や身ぶりでアピールすることがあり、常に注目されていることで満足する。語彙が豊富で色々な物の名前を知っており、友だち同士でしりとりや言葉探しをしながら遊んでいる。
(子どもの健康状態等)	乳製品・卵アレルギー(8ヶ月) 熱性けいれん(37.5℃)以上の発熱の時には保護者に連絡後坐薬を投与する。	乾燥肌でかきむしりが見られたが、医師の指示書持参により軟膏を塗布。少しずつ改善が見られている。	昨年に続き、軟膏を塗布しているが、週明けは乾燥肌が悪化している状態が多いので、家庭へもはたらきかけた。	卵アレルギーについてはパッチテスト実施により解除された。(医師の診断書添付)	乳製品を摂取するとアナフィラキシーの症状を起こす可能性がある。医師の指示書持参にてエピペン使用可能。	熱性けいれん対策としての坐薬使用は一度もなかった。乳製品については引き続き配慮が必要。
担当氏名	アルプス 有符須 <small>ミナミ</small> 南	フエフキ <small>モモコ</small> 苗吹 桃子	ナカコマ <small>アキヒ</small> 中巨摩 昭恵	ヤツガク <small>ヨシジロウ</small> 八ヶ岳 駒二郎	ユ <small>ハ</small> 木の葉 さくら	ナンブ <small>スズ</small> 南部 すず
【子どもの育ちに関わる事項】 3カ月より入園。平成24年6月両親が離婚(母子家庭)。本児の性格は明るく感情表現も素直で喜びを言葉や全身で表したり、友達を心から応援したり、手伝う姿がある。その反面、時に自己主張が強くトラブルになることがあった。保育者が気持ちに寄り添い、互いの思いを伝える事で優しい言葉を言ったり、友達の話にも耳を傾けるようになった。						
項目 教育(発達援助)に関わる事項(ほぼ達成できたところに○印を付ける)						
健康状態	・明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう	○	言葉	・自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう	○	
	・自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする	○		・人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう	○	
	・健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける	○		・日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ保育士や友達と心を通わせる	○	
人間関係	・生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう	○	表現	・いろいろなものの美しさなどに対する豊かな表現を持つ	○	
	・身近な人と親しみ、関わりを深め愛情や信頼感を持つ	○		・感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ	○	
	・社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける	○		・生活の中でイメージを豊かにし、さまざまな表現を楽しむ	○	
環境	・身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持つ	○	【指導上参考となる事項】 自分の気持ちを言葉で表現するのが、苦手だったが年長になって遊びの中で笑顔や会話が増し、徐々に自分の思いを言葉に出して伝えるようになってきている。トラブルがあった時など、気持ちの立ち直りまでに時間がかかることがあるが、ゆっくりと気持ちに寄り添うと落ち着く。造形の作品で自分と友達の出来栄を比較する傾向が見られたので、本人なりの表現や工夫、頑張りを認めるようにした。			
	・身近な環境に自分から関わり発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする	○				
	・身近な事物を見たり、考えたり、扱ったりする中で物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする	○				
施設名及び住所	(保育所又は認定こども園) 社会福祉法人 山本会 勤助保育園		(住所)	〒 400 -8501 甲府市丸の内1丁目6-1		
施設長氏名	富士山 太郎 印		年長担任氏名	南部 すず 印		添付書類 (有)・無)

* 教育に関わる事項、指導上参考となる事項欄については、満3歳以上の園児について記入すること

* 情報公開になる文章です。

* 子どもの最善の利益を踏まえ、個人情報保護に留意し、適切に取り扱います。

平成 28年度作成

注意事項：①年長担任が複数の場合、2名の氏名を記載する。②転入園の場合、送付を受けた用紙に連続して記入してはならない。園長は新たに当該幼児の指導要録を作成する。